

2007年度
(平成20年3月期)
第1四半期
事業進捗説明会



エーザイ株式会社
2007年7月31日

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

第1四半期連結業績

(億円、%)

	2006年4-6月		2007年4-6月			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	増減額
売上高	1,539	100.0	1,760	100.0	114	221
売上原価	268	17.4	275	15.6	103	7
売上総利益	1,271	82.6	1,485	84.4	117	214
研究開発費	244	15.8	305	17.3	125	62
販売管理費	787	51.1	918	52.2	117	132
営業利益	241	15.7	262	14.9	109	21
経常利益	251	16.3	284	16.1	113	33
四半期純利益	158	10.3	193	11.0	122	35
研開費 + 営業利益	485	31.5	567	32.2	117	82
1株あたり純利益 (EPS、円)	55.4		68.1		123	12.6

主要製品売上高

(億円、%)

製品名	所在地	2006年4-6月	2007年4-6月	
		実績	実績	前同比
アリセプト アルツハイマー型 認知症治療剤	日本	115	149	130
	米国	331	415	125
	(百万ドル)	289	343	119
	欧州	77	92	119
	アジア	14	18	129
	計	537	673	125
パリエット / アシフェックス プロトンポンプ阻害型 抗潰瘍剤	日本	71	89	125
	米国	293	318	109
	(百万ドル)	256	263	103
	欧州	30	25	84
	アジア	11	16	146
	計	405	449	111

所在地別売上高

(億円、%)

	2006年4-6月		2007年4-6月			
	実績	構成比	実績	構成比	前同比	増減額
日本	709	46.1	783	44.5	110	73
北米	657	42.7	768	43.6	117	111
欧州	124	8.0	141	8.0	114	17
アジア・大洋州・ 中東	49	3.2	69	3.9	141	20
海外計	830	53.9	978	55.5	118	148
合計	1,539	100.0	1,760	100.0	114	221

(外部顧客に対する売上高)

所在地別営業利益

(億円、%)

	2006年4-6月		2007年4-6月			
	実績	構成比	実績	構成比	前同比	増減額
日本	170	69.0	230	78.3	135	59
北米	60	24.3	41	14.0	69	19
欧州	7	3.0	6	2.1	82	1
アジア・大洋州・ 中東	9	3.8	17	5.7	178	7
海外計	77	31.0	64	21.7	83	13
小計	247	100.0	294	100.0	119	47
消去・全社	6		32			26
合計	241		262		109	21

Eisai Inc. 損益実績

(百万ドル、%)

	2006年4-6月		2007年4-6月			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	増減額
売上高	576	100.0	644	100.0	112	68
アリセプト	289	50.3	343	53.3	119	54
アシフェックス	256	44.4	263	40.9	103	8
ゾネグラン	9	1.5	6	0.9	64	3
フラグミン	16	2.8	12	1.8	73	4
抗がん剤(オンタック他)	-	-	10	1.6	-	10
営業利益	48	8.4	29	4.6	61	19
四半期純利益	34	5.8	22	3.4	65	12
営業利益 (ロイヤルティ控除前)	132	23.0	149	23.1	112	16

米国事業 (1)

E7389 の新発売準備状況

- 2007年度第3四半期に米国サブパートH申請予定
- グローバルオンコロジー戦略の推進
 - － Medical & Marketing
Global Medical Marketing Services部門はグローバルなオンコロジー戦略を推進
 - － 原薬生産
抗がん剤専用棟(鹿島事業所P1棟)でバリデーション3バッチの生産が進行中、続いて商業生産へ移行
 - － 製剤生産
ノースカロライナ工場(米国)の抗がん剤専用注射剤生産棟の建設に着手
2009年度にバリデーションを開始
(初期生産は外部委託を予定)



ノースカロライナ工場 抗がん剤生産棟

米国事業(2)

E7389の新発売準備状況

● 米国で着々と新発売準備

ー 学会活動

ASCO、San Antonio Breast Cancer学会へ積極的に参加し、抗がん剤パイプラインのプレゼンス向上

ー 新発売オンコロジーチーム

米国事業全体で生産、ロジスティックス、マーケティング、セールスサポート、ラインバースメント、メディカルマーケティングを含むチームを編成し、ブランド名の選択など発売準備を推進

ー 営業体制

がんチームとホスピタルチーム約150名による販売体制とマネージド・ケアへのラインバースメント準備活動の開始



ASCO 2007

欧州事業

継続的新製品投入と進出国拡大による事業展開

- **INOVELON (レノックスガスター症候群)の新発売**
 - ドイツ、オーストリア、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、アイスランド
- **NeuroBloc (痙性斜頸)の販売権を米国ソルスティス・ニューロサイエンス社から獲得**
 - 欧州35カ国での独占的販売権
 - 2007年10月よりエーザイが販売開始予定
- **prialt (重度慢性疼痛)の発売国拡大**
 - スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、アイスランド、スペイン
- **現製品の順調な伸張**
 - アリセプトの継続的拡大: 119%
 - ゾネグランの急伸張: 737百万円(262%) (%は前年同期比)
 - パリエットの自社販売国拡大: スウェーデン、デンマーク、フィンランド、アイスランド
- **2007年度新規進出国**
ロシア、チェコ、スロバキア、ポーランド、ハンガリーへの進出に着手
2007年度中に22カ国へ拡大



(ゾネグラン)



(プリアルト)



(イノベロン)



(ニューロブロック)

アジア・オセアニア・中東事業

全社の成長を牽引するアジア

- **アリセプト、パリエットが高成長**
 - アリセプト：129%、パリエット：146%
- **ヒュミラ(リウマチ治療剤)**
 - 韓国、台湾で円滑な市場導入に成功
韓国：4月新発売 学会、展示会に積極的に参加して認知度を向上
台湾：4月新発売 基幹病院で院内処方リストへの収載が進展
- **グルファスト(速効型インスリン分泌促進剤)**
 - アセアン10カ国を対象にライセンス契約締結(6月)
 - 当該国で新薬申請準備を開始
- **ガスモチン(消化管運動機能改善剤)**
 - タイで登録申請を完了
- **ゾネグラン(てんかん治療剤)**
 - オーストラリアで製品許可取得(6月)、薬価申請中

中国事業

営業戦力の質的革新

- 中国事業を独立した事業ユニットとした管理

グローバルエーザイの今後の成長を支える重要市場と位置づけ、アジア・オセアニア・中東事業本部から独立

- マーケティングの質的転換

- コンプライアンスを重視し、小集会と情報伝達を中心としたマーケティングを強力展開(MR460名)
- 営業本部内に2つのエリアサポート組織を新設し、MRの能力向上とエリア支援強化を企図する

- 戦略の意思決定、情報の発信・収集の的確性と迅速性の向上

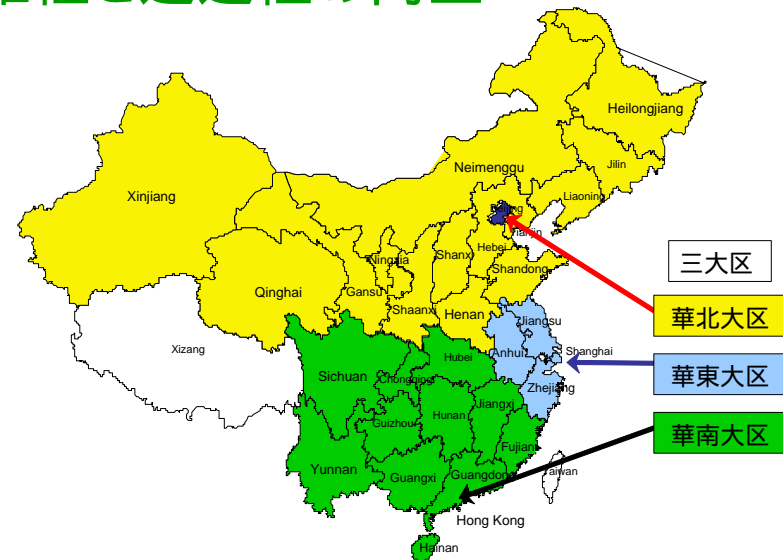
全国7大区 90組織体制

3大区 11テリトリー体制に集約

(華北大区・華東大区・華南大区)

- “ドラマティック リープ プラン”達成に向けた商品ラインの強化

- 事業開発(BD)機能の人的強化とグローバルBDとの密接な連携により新製品の導入/買収のスピードアップ



日本事業(1)

アリセプト、パリエットが牽引し、運動器、循環器も順調な展開

- 医療用医薬品は、第1四半期売上高111%
- IMSでは、市場を3ポイント上回る成長
- アクトネル週1回製剤の新発売
第1四半期の販売は150%超を達成
- タンボコール 発作性心房細動・粗動の適応追加取得
心原性脳塞栓症の防止により患者様の疾病管理への貢献
- ニトロール・シリンジ製剤の新発売
治療作業の利便性と安全性の向上に貢献
- パリエット H.ピロリ二次除菌療法、用法・用量追加が
薬事・食品衛生審議会を通過
- 不眠症治療剤ルネスタ(米国販売名)を米国セプラコール社より導入
フェーズ 試験以降はエーザイが推進、“ドラマティック リープ プラン”期間内の申請をめざす



ニトロール・シリンジ製剤

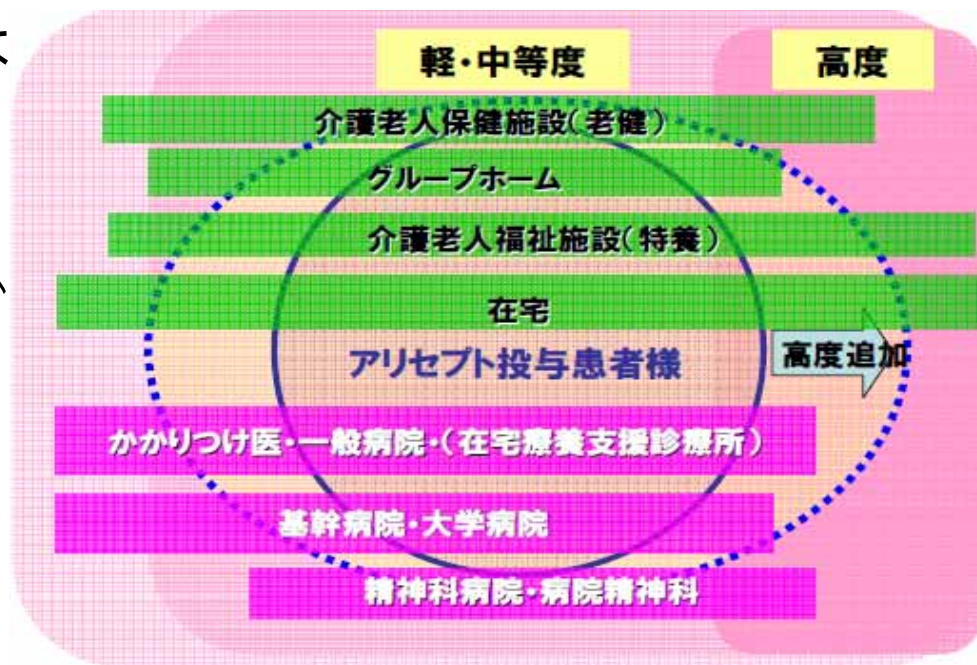
(%は前年同期比)

日本事業(2)

アリセプト 米国に続き日本で高度アルツハイマー型認知症適応追加へ

● 高度アルツハイマー型認知症が薬事・食品衛生審議会を通過
(効能、用法・用量追加)

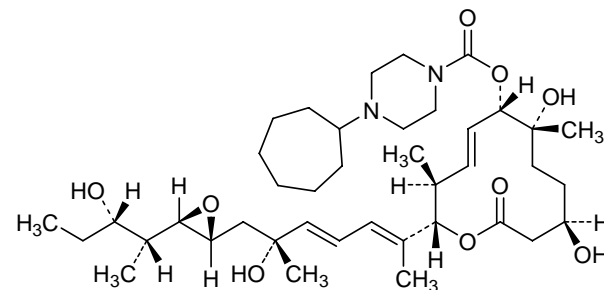
- 軽度-中等度-高度までオールステージのアルツハイマー型認知症治療薬として、更なる浸透度の拡大を期待
- 高度アルツハイマー型認知症では用法・用量を5mgの後10mgへ増量
- 精神科病院、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、老人性認知症疾患グループホームへの情報提供を強化



E 7 1 0 7 の新規抗がんメカニズム

Nature Chemical Biology誌に掲載

- “スプライシング制御” - 新規抗がんメカニズム
 - E 7 1 0 7 がスプライシングファクター SF 3 b (分子標的) に結合することによりスプライシングを制御し、抗がん効果を発揮すると考えられる
 - 既存の抗がん剤無効例にも効果を期待
- 新規化学構造
 - “プラジエノライド” に化学修飾を加え E 7 1 0 7 を創製
- 優れた抗がん活性を發揮
 - ノードマウス移植モデル(ヒトがん細胞)で多くのがん種に腫瘍縮小作用を示すとともに、治癒するマウスも観察された
- フェーズ 試験進行中(欧、米)



新規抗がんメカニズム

“スプライシング制御”

■ エクソン
■ インtron

